

学校だより

重点目標 みんなでいっぽ

夏休み号

夏休み 五感を働かせて

明日から45日間の夏休みです。

さて、保護者の皆様の、夏休みの思い出は何ですか。

プールで泳ぐ、海に行く、山に行く、キャンプに行く。

お昼と言えばそうめんを食べる。スイカを食べる。

アサガオに水をやる。花火をする。高校野球を観る。星空を眺める。

以前、体力づくりの講演会で「大人が、子どもの頃楽しかったことを、子どもに体験させましょう」という話を聞いて、心に残っています。

学校では、分刻みで頑張っている子どもたちですので、体と心にゆとりができるといいですね。私たち大人がワクワクした体験を、少し心にとめていただけたらと思います。

さて、ワクワクする体験ですが、デジタル関連に比重がいくのではないかと危惧する部分もあります。6月の高学年朝会で、インターネット利用についての話をしました。便利である反面、使い方には気を付けなければならない道具です。

インターネットの使い過ぎについて4つの質問をしました。

①インターネットに夢中になっていると感じますか。

②インターネットを使う時間を減らしたり、やめようとしたりしても、うまくいかなかったことがたびたびありますか。

③ インターネットを使う時間が、使い初めに予定していた時間よりも長くなりますか。

④困っていることやいやな気持ちから逃れるために、インターネットを使いますか。

去年、この質問を受けた大和市の小学6年生ですが、質問②の「やめようとしてもうまくいかなかったことは、たびたびありますか」について、約半分の「はい」と答えた結果があります。

また、次のことを考えてもらいました。

「友だち同士で、『夜遅くには、LINEを送らないようにしよう』と決めました。その中の一人が夜9時にLINEで友だちに連絡をしたら、友だちが『夜遅い』と怒りました。」

「皆さんにとって夜9時は遅いですか、まだ遅くないですか、と質問をしました。

この場合はLINEやメールですが、家での時間の使い方や、お家の方々のルールは人によって違うことを考えてもらいました。去年、「メールやLINEなどで不安な思いや、いやな思いをしたことがありますか」という質問を受けた大和市の小学6年生の13%が「はい」と答えました。誰かが、困ったり、いやな気持ちになったりする使い方は、ネットの負の部分です。

「わかば」の所見欄に、「頑張ろうとする人を応援する気持ちが育っています」「困っている友だちを察して手助けすることができます」とありました。心は、人や自然などと直に対面し、五感を使う中で育つものが多いと思います。画面に向かって得られるもの、人との直接のやり取りで得られるもの、そのバランスを考えたいものです。（校長）

